ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成25年 7月号
No.257

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

参院選、全国的に自民党圧勝
西田氏、堂々たる票で再選

京都政界の潮流、民主から自民へ

7月21日に投開票された参議院通常選挙は、事前の予想通り、自民党の一人勝ちの結果となった。惜しくも岩手、沖縄で敗北したが、接戦が伝えられた1人区の山形、三重では民主党などに競り勝った。2人区以上の選挙区では公認候補が全員、比例区では18人が当選した。自民党は選挙区、比例区合わせて65議席を獲得、非改選議員50人と合わせると115議席となり、自民党だけで単独過半数の122人に迫る議席となった。公明党の議席20と合わせると悠々と過半数を上回る。これによって参議院のねじれ現象は解消し、政治は安定、安倍首相は、自信を持って、成長戦略であるアベノミクスに取り組んでいくことができる。京都選挙区で過去3回民主党の後塵を拝していた自民党は西田昌司氏がトップ当選を果たした。京都の政治の流れは、民主党から自民党に向かっている様相である。

京都市役所前での安倍首相の街頭演説

恒心

★憲法96条の改正要件の緩和、我が国の安全保障のあり方、秋にも導入の判断が下される消費税増税、TPP（環太平洋経済連携協定）への参加の是非、原子力を含むエネルギー問題等々、選挙で有権者に問うべき課題はあった。★当初は、憲法改正問題が、参議院選挙の大きな争点になると思われていた。ところが、憲法改正要件の緩和に関しての世論調査で、国民の過半数が反対の意向を示すと、安倍首相は憲法改正問題を参議院選挙で正面から取り上げるのを避けた。★したがって、参議院選は、長引くデフレからの脱却を図り、日本経済再生のための、金融緩和、財政出動、そして成長戦略の「3本の矢」、いわゆるアベノミクスの是非を問う選挙戦になった。★安倍首相が登場、日銀総裁が交代し、金融緩和策を取っただけで、経済の動きが急に変わり出した。株価も上昇、円も1ドル100円近くにまでなって来た。確実にいい方向に向かっている中で、自民党は参議院選挙を迎えた。★今の時点では、中小企業、地方経済にまで景気回復の実感はないが、成長戦略が実行されるようになれば、いずれ効果が現れてくるだろう。デパートの売り上げも対前年度比7％以上のプラスとなってきている。★国民の中に、期待感が高まっている感じがする。野党は儲かっているのは大企業だけだ、円安で油の輸入価格が上昇、その影響で庶民は物価高に苦しんでいると盛んに批判したが、国民は成長戦略実行に期待し、参議院ねじれ解消のために、自民党を支持した。安倍内閣は国民の夢と期待を裏切ってはならない。

西田昌司圧勝までの17日間

今回の選挙は、西田の勝利は確実である、断トツでトップ間違いなしと言う風評が最初から飛び交い、陣営の気の緩みを引き締めるのに随分と苦労した。候補者本人もイライラしていたに違いない。民主、共産からは後半、西田の票の切り崩しが始まり、このままでは、西田陣営が目論んでいる2位以下を圧倒的に引き離すという事が難しい情勢となってきた。後半の演説会では必死になって候補者、弁士も他の陣営からの甘い言葉に乗らないように注意を喚起した。その結果、陣営の所期の目的であった40万票に近い票で勝利することが出来た。

①3年前と比較にならぬ盛大な出陣式

出陣の挨拶と決意表明

3年前の参議院選挙出陣式は自民党の野党時代。知事も京都市長も先に民主党候補に激励挨拶。今回は政権交代して、自民党が先。参加者も前回とは、比較にならないほど多くの人が激励に駆け付けた。政権党と野党の違いをつくづくと思い知らされた。

②早々に安倍首相が来援

聴衆で埋め尽くされた京都市役所広場

今回の選挙で、自民党が圧勝するには、31の1人区で勝つことが重要。2人区は党本部にとって、1人は必ず当選出来るために、総裁以下の3役、閣僚は原則として遊説しない方針であったが、西田昌司候補と安倍総裁は極めて親しい関係にあり、安倍総裁の強い希望で京都選挙区の応援に入った。

③街頭演説を繰り返す西田候補

西田候補の売りはさわやかな弁舌。連日、10分程の街頭演説を度々行い、自らの政治信念と経済復興に対する政策を述べた。余りにも話しすぎたのか、選挙終盤には声が、かすれていた。

④団体総決起大会に千二百人

推薦を受けた企業、団体の人達が一堂に会して勝利に向かって結束を固めるために、選挙戦後半に決起大会を行うことが恒例となっている。西田陣営でも、7月18日に京都ホテルで、約1200人が参加して、西田候補の圧勝を誓いあった。

京都駅近くのイオンモール前で

若い女性運動員を先頭に、
「エイエイオー」の掛け声で、圧勝を誓う

⑤最後の街頭演説会

最終日は市内11行政区と宇治市を回り、最後の訴えをする統一街頭行動。11時30分の西京区を皮切りに、最後は東山区の祇園石段下まで。そして最後は、四条河原町での街頭演説会で打ち上げ。多くの支援者が激励に駆け付け、候補者も満足気。長い17日間の街頭活動も幕を閉じた。

⑥早々と当選確実

今回の選挙結果は、事前からある程度予想できていた。そのために午後8時の投票が締め切られると同時に、多くの選挙区で当選確実が出ると言われていた。西田候補も午後8時に早々と当選確実のNHKニュースが流れた。当確は有難いが何となく物足りない感じもする。

最終日、スタート直前に運動員と

事務長の発声で万歳する西田陣営

★世襲候補、県外候補と批判され初陣を飾るまで

①駅頭での朝立ちで名前と顔の売り込み

公募で選ばれたとは言え、二ノ湯たけしは全く無名の新人候補である。何はさておいても、名前と顔を知ってもらうのが先決と、毎日朝晩にJRの駅頭に立ち、二つ折りの名刺版のチラシを配った。自民党への期待が高まりつつあるので、受け取ってくれる人が多く、公示前日までに配布したチラシは約6万枚に達した。

朝晩、駅でチラシを配る二ノ湯たけし

②いざ出発、県庁前に千人が集う

7月4日の公示日、県庁前で二ノ湯たけし事務所の出発式が行われた。当日、激励に集まった人は、約1000人。河本英典後援会長はじめ、県連会長などが挨拶し、二ノ湯たけしは「滋賀の議席獲得のために頑張りぬく」と決意表明をした。

出陣式で決意表明する

③選挙戦早々、安倍首相、小泉進次郎氏も応援に入る

参議院選挙の勝敗の帰趨(きすう)を決めるのは、1人区で勝利することである。特に滋賀、三重、奈良は民主の強い地盤であり、過去数回の選挙で、自民党は民主党に負けている。そのため、公示3日後の7月6日には、奈良、三重、滋賀に安倍首相が入った。安倍首相は草津、大津の2か所で街頭演説を行った。草津では2500人、大津では1500人が集まり、選挙戦を盛り上げた。2日後の8日には、党青年局長の小泉進次郎氏も駆け付けた。南草津駅で街頭演説し、約1000人が集まった。翌朝、琵琶湖の沖島に候補者と訪問、島民の温かい歓迎を受けた。その後、小泉氏はJR米原駅でも街頭演説をした。人口が少ない地域であるが、それでも約300人が集まった。2人の応援で陣営は大いに盛り上がった。

沖島での小泉氏と候補者

④次々と大物議員が滋賀にはいる

厳しい選挙区だけに、党本部も滋賀県に多くの閣僚、党役員を送り込んだ。古屋国家公安委員長、下村文科大臣、山本沖縄北方大臣、甘利経産大臣、林農水大臣、石原環境大臣、稲田行革担当大臣、田村厚労大臣、谷垣法務大臣、岸田外務大臣、世耕官房副長官、高村副総裁、中曽根自民党参議院議員会長など、多彩な顔ぶれであった。

谷垣法務大臣

⑤最後の訴えをする。

選挙戦最終日はJR和邇駅からスタート。100名の方々が見送りに駆けつけてくれた。二ノ湯陣営の士気の高さがうかがえる。大津市内を回り、最後はJR石山駅でマイク納めをした。その後石山商店街の夜市を練り歩き、長い17日間の戦いを終えた。

支援者と一緒に商店街を練り歩く

⑥投票終了と同時に当選確実の報道

最近は世論調査の技術も発達して、精度が高く、事前に当落が判明する。期間中の意識調査、期日前投票の調査、そして選挙当日の出口調査で、ほぼ正確に結果が判る。従って二ノ湯たけしの当選は事前の調査で100%確実であることが判っていた。ハラハラドキドキの開票状況は昔の話になってしまった。

当選確実となり
バンザイをする二ノ湯事務所

中京区市会補欠選挙 自民党香川佐代子さんが当選

中京区選出の共産党市会議員の参議院議員選挙の立候補に伴う市会議員の補欠選挙が参議院選挙と同時に行われた。自民党、民主党、共産党、日本維新の会、地域政党京都党から５人が立候補した。どの候補者も新人で、実力伯仲であったが、自民党公認の香川佐代子さんが、国政選挙での自民党の勢いに乗って、他の候補を引き離し、初当選を果たした。

喜びに沸く香川佐代子事務所

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　１万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

戦後２度目の親子参議院議員 選挙区出身の親子は初めて

同じ時期に、親子、兄弟で国会議員を務めている例はそんなに多くない。現在、思い浮かぶのは、衆議院では石原慎太郎、そして息子の伸晃、宏高兄弟、安倍晋三首相、岸信夫議員は兄弟である。参議院で親子が議員となったのは、戦後皆無と思ったが、鮎川義介（よしすけ）、金次郎親子がいた。昭和34年６月２日の選挙で、父親の義介氏は無所属で全国区、息子の金次郎氏は自民党公認で東京選挙区から当選した。当選はしたものの、金次郎派は大がかりな買収容疑で数多くの運動員が逮捕され、義介、金次郎の両氏は、当選後６カ月余りの後、12月29日に議員を辞職した。義介氏は戦前は勅選議員として貴族院議員、そして戦後は28年から参議院議員を６年間務めていたが、息子の金次郎氏はわずかの在職期間であった。当時、世間を騒がせた選挙違反であった。今回の二之湯智（京都選挙区）、二之湯武史（滋賀選挙区）のように、選挙区選出の親子議員は、公選史上初めてである。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1,200円

郵便振替口座　01000－4－62360

口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

身辺雑記

一、今年からプロ野球で統一球が採用され、以前よりも飛ぶようになった。そのことを選手は勿論のこと、コミッショナーの加藤良一氏も知らないという。球には加藤良一とサインが入っている。加藤氏が知らないとは考えられない。

一、選挙事務所には多くの差し入れがある。京都の銘菓が多い。昔は、事務所に訪問した人が、お菓子をポケットに入れて持って帰ることが多かった。時代は変わり、今は、手を出す人も少なくなった。日本がそれだけ豊かになったということか。

一、他党の悪口は言いたくないが、現代表の海江田氏が公認候補を、そして元代表の菅氏が公認を取り消された無所属候補を応援している。東京都の民主党の醜い、滑稽な争いは民主党のイメージを著しく悪くしている。

一、海上保安庁長官には、現場の経験、知識が豊富な人を充てるべきだと、私は委員会で質問したこともある。安倍首相の決断で、初の現場出身者が登用される。尖閣諸島の海域で、活動している保安庁職員の士気は高まることだろう。

一、選挙期間中、長男の息子（５才）を我が家で預かった。とは言え、世話をするのは家内である。僅か20日間ほどであったが、電車好きの子供のために毎日のように嵐電に乗って、嵐山に連れて行っていた。暑い中、大変だっただろう。

一、京都と滋賀と大変ですねと、よく声を掛けられた。私は西田事務所の選対本部長であり、気になっても息子の事務所には、一度も行かなかった。滋賀は滋賀のやり方があり、息子は息子で険しい道を切り開いて行かねばならない。

暑中 お見舞申し上げます

連日　厳しい暑さが続いておりますが　くれぐれもお身体を大切にご自愛ください
来月八月号は休刊させていただき、八・九月合併号とさせていただきます。

自民党京都府連会長　参議院議員　二ノ湯　智

「日本真生塾」 第33回例会のお知らせ

平成25年7月29日(月)　18時～20時

場所：**龍谷大学アバンティ響都ホール**
（京都駅八条口前アバンティ9F）

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。

＜お問い合わせは事務局へ＞（担当：近藤）
TEL：050－7544－4018　メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp

内容・年会費など詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾 で検索。

日本真生塾　塾長　**岡本幸治**